

日高自動車道（日高厚賀IC～新冠IC）開通式



関係者らによるテープカット・くす玉開披で開通をお祝いしました



山本町長による地域の紹介



金子恭之国土交通大臣あいさつ



2月28日、レ・コード館で「日高自動車道（日高厚賀IC～新冠IC）開通式」が行われ、金子恭之国土交通大臣をはじめ、国会議員や北海道知事などの来賓のほか、町民や関係機関など約200人が出席しました。

式典では関係者や来賓のあいさつのほか、山本町長による地域の紹介が行われました。また、テープカットとくす玉開披が行われ、新冠小学校児童4人も参加して開通を祝いました。

通り初め式と祝賀会



開通式終了後、一般開通に先立ち、新冠IC本線上で通り初め式が行われました。日高管内のゆるキャラや関係者が見守るなか、約60台の車列が通り、新しい道路の門出を祝いました。

通り初め式の後は、レ・コード館を会場に祝賀会が開催されました。祝賀会では新冠判官太鼓保存会による演奏が披露され、演奏後には会場に大きな拍手が響きました。



日高自動車道 新冠IC開通

地域の産業と暮らし支える道路に



開通した日高自動車道 新冠インターチェンジ入口

令和8年2月28日午後3時、高規格道路日高自動車道の日高厚賀IC～新冠IC間（延長9.1km）が開通しました。日高自動車道の延伸は平成30年4月21日の日高厚賀IC開通以来、約8年ぶりとなります。

インターチェンジの開通により、札幌圏を中心とする道央地域とのアクセスが夏季で約7分短縮します。競走馬や農産物の流通の利便性向上をはじめ、救急搬送の迅速化や災害時の物資輸送ルートの確保など、地域の産業と暮らしを支える基盤としての役割が期待されています。

町では、企業立地や物流拠点の可能性も視野に入れながら、新冠インターチェンジの開通を地域の発展につなげる取り組みを進めていきます。

■日高自動車道の今回開通区間図



■新冠インターチェンジ開通までの歩み

- 平成23年4月以降
日高自動車道（日高厚賀IC～新冠IC）工事着手
- 令和元年12月
大狩部トンネル（仮称）貫通 ※現新冠トンネル
- 令和7年3月
「新冠インターチェンジ」に名称決定
- 令和7年9月
新冠町主催 開通前記念イベント開催
- 令和8年2月
道路防災訓練実施
日高自動車道（日高厚賀IC～新冠IC）開通